

複合施設（旧西中学校）基本構想 （素案）

令和5年8月
鶴ヶ島市

複合施設（旧西中学校）基本構想（素案）

1	はじめに	1
1-1	これまでの経緯・背景	1
1-2	基本構想策定の目的	1
1-3	基本構想の位置づけ	1
2	対象施設の概要	2
2-1	西中学校の概要	2
2-2	移転施設の概要	2
3	市民及び関係団体等の意見	3
3-1	令和5年度の市民及び関係団体等の意見	3
3-2	令和6年度の市民及び関係団体等の意見	3
4	複合施設（旧西中学校）の方向性	4
4-1	複合施設（旧西中学校）の目指す姿	4
4-2	施設整備の方針	4
4-3	周辺地域への配慮	4
5	複合施設（旧西中学校）の機能	5
5-1	移転施設の機能	5
5-2	新たな機能	5
5-3	西中学校メモリアル機能	5
6	新たな複合施設のイメージ	6
7	施設機能の配置プラン	7
7-1	西中学校の現況図	7
7-2	複合施設（旧西中学校）の配置図案	8
8	概算コスト	9
9	今後の事業推進	9
9-1	事業手法	9
9-2	事業スケジュール	9

1 はじめに

1-1 これまでの経緯・背景

市では、今後の人口減少や施設の老朽化などを踏まえ、公共施設のあり方等について整理し、今後の公共施設を維持管理していくための実施計画として、鶴ヶ島市公共施設個別利用実施計画（以下「個別利用実施計画」という。）を定めました。

これに基づき、教育委員会では、鶴ヶ島中学校と西中学校の再編に向けて「(仮称)鶴ヶ島市立西部中学校開校に向けた基本方針」を定め、令和9年4月に(仮称)鶴ヶ島市立西部中学校の開校を目指しています。

再編後の西中学校は、これらの計画に基づき、校舎等の有効活用を図るため、複合施設として整備し、公共施設の移転による施設機能の集約を計画しているものです。

1-2 基本構想策定の目的

基本構想の策定については、旧西中学校の校舎等に、公共施設を集約・複合化すること並びに市民が求める新たな施設機能を付加するなど、使用しなくなった学校施設の最適な活用を図ることを目的としています。

さらには、人口減少を見据えた公共施設の適正配置を促進することで、老朽化した公共施設の莫大な更新経費や借地の解消など、公共施設が抱える様々な課題の解消とともに、将来に向けた持続可能な公共サービスの提供を大きな目的としています。

1-3 基本構想の位置づけ

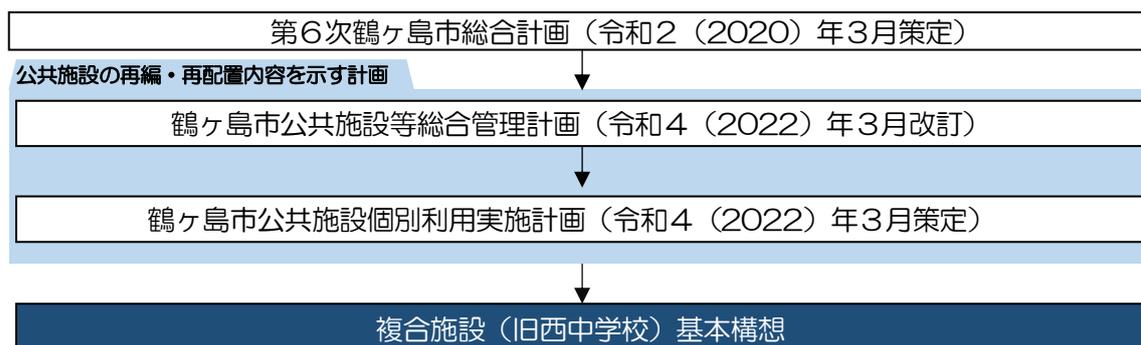
市では、第6次鶴ヶ島市総合計画を策定し、「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」を10年後の市の将来像として掲げました。

この計画の中で、ファシリティマネジメントの推進として、「公共施設の質と量からの適正配置と、健全な財政運営の両立を図り、持続可能な施設サービスを提供できるまち」を目指しています。

これに基づき、鶴ヶ島市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）とその実現に向けた個別利用実施計画を策定し、財政負担の軽減や公共財産の効果的な活用を図った公共施設の再配置や持続可能な公共サービスの提供を行うための中長期的な施設維持・整備の具体的方針を定めました。

また、個別利用実施計画の中では、教育環境・教育機能の維持向上を図り、魅力ある学校づくりを進めるための小・中学校の再編計画も示しています。

複合施設(旧西中学校)基本構想は、これらの計画と整合性を図りながら、策定するものです。



2 対象施設の概要

2-1 西中学校の概要

西中学校の施設の概要は以下のとおりです。

施設	竣工年度	敷地面積	延床面積	構造	階数
校舎	S60	31,714 m ²	5,968 m ²	RC 造	地上 4 階
体育館	S61		1,464 m ²	SRC 造+S 造	地上 2 階

2-2 移転施設の概要

再編後の西中学校に移転を計画している施設の概要は以下のとおりです。

移転施設	竣工年度	敷地面積	延床面積	施設の概要
老人福祉センター 「逆木荘」	S54	13,258 m ²	1,070 m ²	・「老人福祉法」に基づいた高齢者福祉施設
障害者生活介護施設 (きいちご)	H1	6,530 m ²	520 m ²	・「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づいた障害者支援施設 ・具体的には、常時介護を要する障害者が入浴や排せつ、食事の介護などを受けるための施設
発達支援センター	H10	503 m ²	267 m ²	・心身に障害や発達の遅れ、不安のある児童が必要な指導や訓練を受けるための施設
文化財整理室第一分室	S44	691 m ²	361 m ²	・文化財事務室や出土した遺物などの整理作業、保管管理、展示するための施設
文化財整理室第二分室	S44		205 m ²	
文化財整理室第三分室	S63		328 m ²	
鶴ヶ島海洋センター	S57	10,061 m ²	1,102 m ²	・屋内スポーツを行うための社会体育施設
市民テニス場	S61	3,666 m ²	—	・クレーコート 4 面のテニス場

3 市民及び関係団体等の意見

3-1 令和5年度の市民及び関係団体等の意見

※今後、市民の皆様からご意見を伺い、整理していきます。

3-2 令和6年度の市民及び関係団体等の意見

※今後、市民の皆様からご意見を伺い、整理していきます。

4 複合施設(旧西中学校)の方向性

4-1 複合施設(旧西中学校)の目指す姿

複合施設(旧西中学校)は、公共施設の施設機能の移転・集約だけでなく、地域住民や子育て世代に求められる機能などを整備し、多様な市民ニーズを満たす施設を目指します。

※この他にも、複合施設(旧西中学校)の目指すべき姿として、必要な要素を市民の皆様からご意見を伺い、整理していきます。

4-2 施設整備の方針

複合施設(旧西中学校)の整備においては、以下の4つを基本的な方針とし、施設整備を進めるものとします。

1. バリアフリーに対応した施設整備など、ユニバーサルデザイン化の推進
2. 省エネルギー化や自然エネルギーの活用など、環境へ配慮した脱炭素化の推進
3. 災害時の避難所利用などを想定した防災機能の確保
4. 既存施設の構造や設備などを可能な限り有効活用した整備

4-3 周辺地域への配慮

複合施設については、不特定多数の利用が想定されることや、既存住宅地内にあることなどから、整備にあたっては周辺住民への配慮が必要となります。

構想の策定においては、下記の項目について検討し、その方向性を整理します。

1. 必要な駐車台数を想定した駐車場の整備
2. 車以外の来訪を促す公共交通の確保(つるバス・つるワゴンのルート変更)
3. 路上駐車抑制や周辺交通の安全確保の対策
4. 近隣住民に配慮した施設運営と防犯対策

5 複合施設(旧西中学校)の機能

5-1 移転施設の機能

複合施設(旧西中学校)へ移転する既存の公共施設の主な機能は以下のとおりです。

移転施設	主な機能
老人福祉センター「逆木荘」	浴室、集会室、機能回復訓練室など
障害者生活介護施設(きいちご)	静養室、訓練・作業室、医務室など
発育支援センター	指導訓練室、遊戯室、相談室、静養室など
文化財整理室	展示スペース、体験学習等活用スペースなど
鶴ヶ島海洋センター	屋内運動施設、シャワールームなど
市民テニスコート	テニスコート

5-2 新たな機能

※今後、下記の項目について、市民の皆様からご意見を伺い、整理していきます。

- 上記5-1の移転施設の主な機能の必要性や新たに必要と思われる機能
- 上記5-1以外に必要と思われる施設や機能
(例：様々な世代の交流スペースや地域イベントの実施スペース、親子遊び場など)

5-3 西中学校メモリアル機能

西中学校の思い出を残すため、メモリアルコーナー等の設置を検討していきます。

※なお、西中学校メモリアル機能の検討においては、下記の項目について、市民の皆様からご意見を伺い、整理していきます。

- 生徒に関する歴史
- 閉校記念碑
- その他、西中学校開校以来41年の歴史

6 新たな複合施設のイメージ

複合施設（旧西中学校）のイメージです。

※今後、市民の皆様の意見を伺いながら、施設のニーズを把握し、市民や地域住民の皆様から求められる施設となるよう、基本構想を策定していきます。

複合施設のイメージ(案)



新たな複合施設（旧西中学校）

【老人福祉センター】
S54(1979)年竣工



【鶴ヶ島海洋センター】
S57(1982)年竣工



【市民テニスコート】
S61(1986)年竣工



【障害者生活介護施設】
H元(1989)年竣工



【発育支援センター】
H10(1998)年竣工



【文化財整理室】

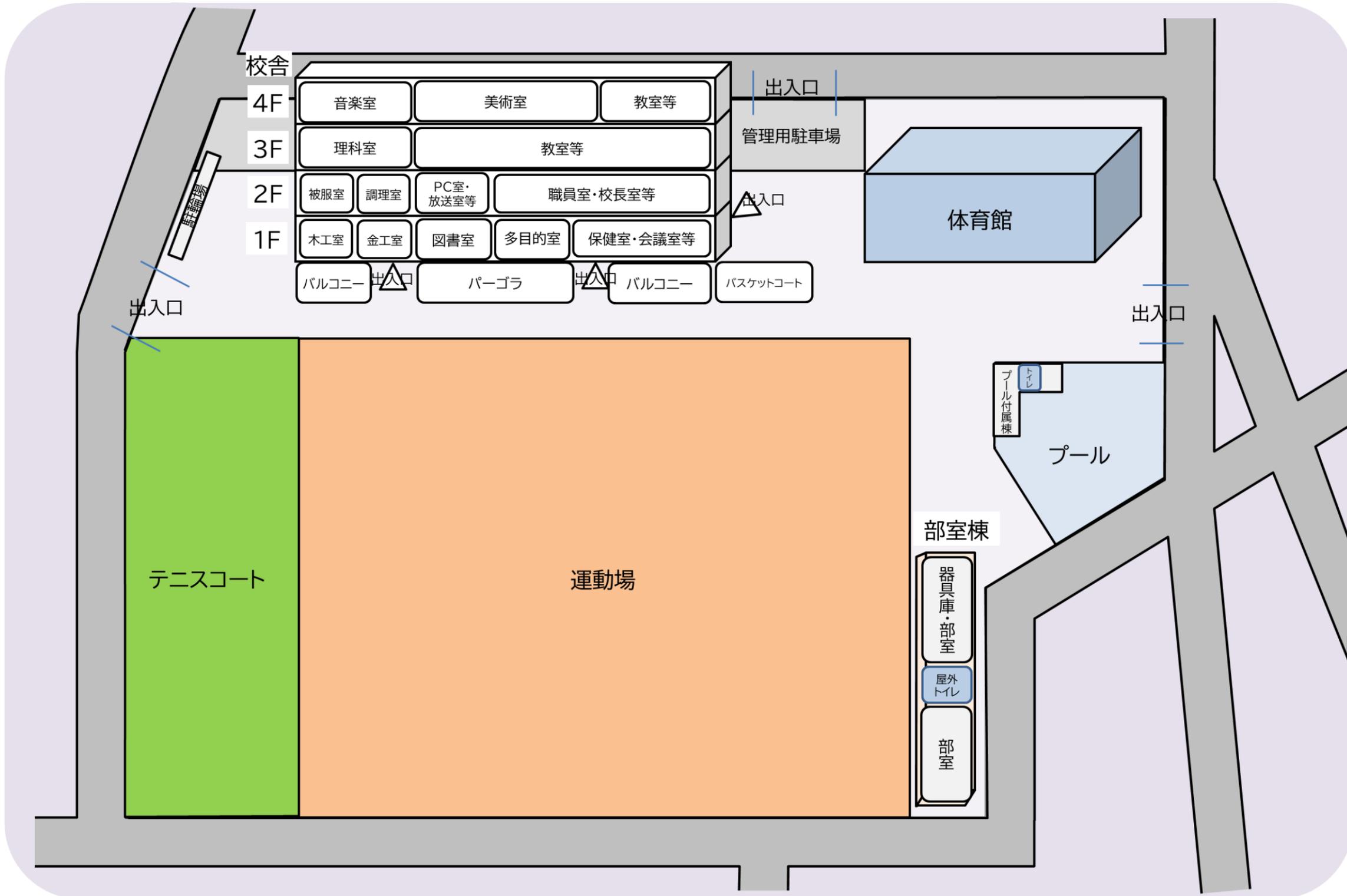


複合化を想定している既存の公共施設や機能

7 施設機能の配置プラン

7-1 西中学校の現況図

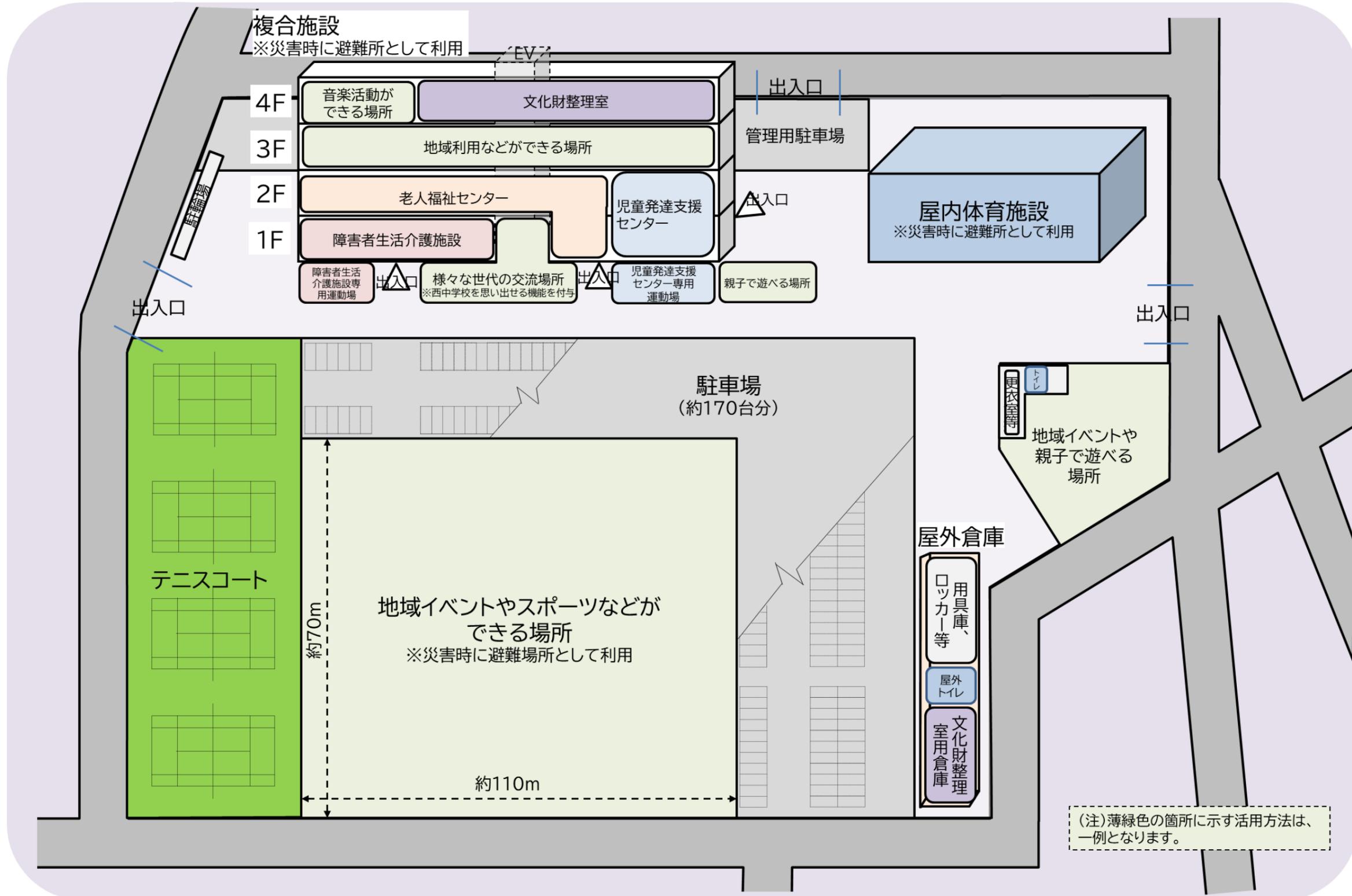
西中学校の現況図は以下のとおりです。この施設を改修し、複合施設(旧西中学校)を整備します。



7-2 複合施設（旧西中学校）の配置図案

複合施設（旧西中学校）の配置図案は以下のとおりです。

※皆様からの意見に基づき、新たな機能を検討し、配置プランに反映していきます。



8 概算コスト

※新たな機能等が整理され次第、複合施設（旧西中学校）の概算整備費用を算出します。

なお、複合施設（旧西中学校）の整備にあたっては、補助金等の有利な財源の活用を検討し、可能な限り財政負担の軽減を図ります。

9 今後の事業推進

9-1 事業手法

民間の資金やノウハウを活用し、総事業費の圧縮を図るため、従来型手法^{※1}と併せて、PPP/PFI手法^{※2}による事業の実施の可能性を探り、効率的かつ効果的な事業手法を検討します。

9-2 事業スケジュール

現在のスケジュール（予定）は以下のとおりです。基本構想の内容に基づき設計等を進める予定です。なお、関係機関と調整をしながら進めていくため、スケジュールは変更となる可能性があります。



^{※1}従来型手法…公共施設の建設や維持管理、運営等について、それぞれ行政自ら又は個別に民間事業者に委託して実施する手法。

^{※2}PPP/PFI手法…Public Private Partnership/Private Finance Initiativeの略。公共施設の建設や維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図る手法。

複合施設（旧西中学校）基本構想（素案）

令和5年8月 策定

発行 鶴ヶ島市

編集 鶴ヶ島市役所 総合政策部 資産管理課

〒350-2292 鶴ヶ島市大字三ツ木 16-1

TEL 049-271-1111 FAX 049-271-1190